

しわのある宇宙

理学部長

牟田 泰三

数年前に、人工衛星による観測によって、宇宙を満たしている光（電磁波）の分布にはごく僅かながらむらがあるということが発見され、この分野の専門家ならずとも目を見張つたものであった。発見者の一人であるスミトは、このむらを、いみじくも宇宙のしわとよんでいる。

ビッグバン宇宙論によると、我々の宇宙は約一五〇億年前に爆発的に生まれ、未だに膨張を続けているとされている。この膨張は、宇宙全体でまったく一様に起こっているのではなく、ほんの僅かのむらがあったので、物質分布にもむらが生じ、宇宙に現在無数に見られるような銀河が生まれたのである。宇宙における銀河形成の理論を根拠づけるこの宇宙背景放射の分布のむらを、ついに発見したのがスミトたちなのであって、宇宙物理学における近來にない大きな発見であった。

もしも宇宙にしわがなかったとしたら、現在みられるような銀河はないし、太陽系もないし、我々も存在しなかつたはずである。そう考えると、いかにこの発見が重大な意味を持つかがわかる。たかが僅かなしわといえども、それによつてもたらされるものは偉大である。



人の顔もよく見るとしわがたくさんある。このしわは、その人が生きてきた年月を物語っている。世の中にもふと見落としそうなしわがある。その中には、宇宙のしわと同じくらい重大なものもあるだろう。大学の中にもしわを見つけることができる。これらのしわやひだに大学の歴史が刻まれている。何事にも、しわがあるから深みがあつて面白いのであり、のつべらぼうであれば、そこからは何も生まれない。

理学部における研究の極意は、自然界にみられる些細なしわからのシグナルをとらえて、自然界を支配している法則に迫ることである。新入生諸君は、このような研究の最前線を支えておられる先生方と接触することによつて、学問への意欲を駆り立ててほしいと思う。（むた・たいぞう）

アルバイト・遊び・勉強

理学部学生 山下 誠

新入生の皆さんは大学での生活にいろいろと夢と希望、そして不安を持っていると思いますが、僕の大学での生活を少し紹介したいと思います。

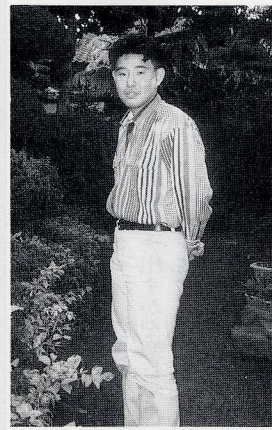
まず、バイトについて。僕は現在塾の講師をやっていますが、高校入試の時期などとても忙しくて、これはこれで大変です。



かんばーい!! (本人左端)

次に、遊びについて。友だちの中には広島市内まで遊びに行く人もかなりいますが、僕らはもっぱら西条で遊んでいます。夜お酒を飲む時はたいして近くの「優遊村」に行きます。あと、麻雀好きで友人の部屋、近くの雀荘などで牌をつまんでいます（僕の回りの人間はパチンコに行く人が多い）。

最後に、やはり勉強についてですが、好きな人はやっていますし、嫌いな人はサボっているという感じです。僕について言えば、好きな分野の勉強しかやらないので成績は惨めです。まあ、自分が将来何をやるのかを見据えた上でいろいろなことにチャレンジして行けば、大学生活が有意義なものになるのではないのでしょうか。（やました・まこと）



聖なる四年間

理学研究科学生

木田 進太郎

新入生の皆さん、入学おめでとう。受験からようやく解放され、大いなる期待と希望を胸に広大（ひろだい）の門（西条キャンパスには門がないが）をくぐったことと思う。入学した頃のことを昨日のように思い出す。この広大から得たものは計り知れない。良い師にめぐり会えたこと、多くの友人・先輩・後輩に恵まれたこと。新入生の皆さんにも、いろいろな分野・立場の人と多くを語り合つて欲しい。

これからの四年間を受け身で過ごすのはあまりにももったいない。苦労して手に入れたこの四年間は、自分自身のためだけに使える聖なる貴重な時間である。四年間とは、長いようで本当に短い。今から四年後に、大学生活の区切りを迎えた時、充実した大学生活であったと振り返ることができるように、日常を本当に大事にしていて欲しい。

これは、私が大学に入学したときに先生方から戴いた言葉である。「君たちは、四年後、ようやくその学問の入り口にたどり着くに過ぎない。その頃に初めて、自然科学の奥深さを知ることになるだろう」と。最後に、皆さんの今後の飛躍を祈りたい。（きだ・しんたろう）

より良い人生の創造に向かって

医学部長 吉永文隆



医学部の新入生の皆さん、入学おめでとう。めでたく入学できたということは、両親から受け継いだ遺伝情報と家族や先生等に支えられた生活歴の栄えある成果であるといえるが、人生の選択の自由度を狭めた第一段階でもある。この機会に自己の過去を点検評価し、お世話になった家族や先生、または先輩や友人たちと、これからの人生の意味と価値について語り合い、何らかの糧を得るよう試みて欲しい。

医学・医療は、生命の尊厳を理念とした学問領域であるから、地球の生存秩序の原点である「生命の存在意義」について思索してみたい。病んだ生命を癒し、生命の質を高めるためには、人の痛みがわかる心と生活背景を理解できる素養が不可欠であることが分かるであろう。教養的教育を疎かにしないで欲しい。

医学・医療に関わる具体的な知識・技術ももちろん必要であるが、これは生涯をかけて身につけるものであり、とりあえず、自己の生命倫理の基盤を

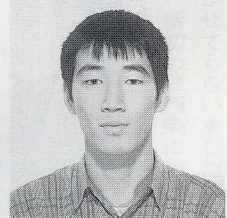


医学部霞キャンパス
臨床研究棟、基礎医学研究棟、講義室、図書館をのぞむ

整備し、多角的に自己実現の方向を探ってみることである。そのためには、先輩や先輩、同級生はもとより、異なる分野の人たちとも積極的に交流し、お互いに、言葉の意味と活動の価値を認識し合うよう努力してみるのである。このような過程を通じて、個人と全体、分化と統合の価値が分かり、自己啓発にも繋がることになるであろう。健やかで楽しく有意義な学生生活になることを期待する。（よしなが・ふみたか）

大学生生活を有意義に

医学部学生 大枝 守



新入生の皆さん、入学おめでとう。多くの人が広島大学を目指して、長く苦しい受験勉強をしてきたことと思う。受験勉強と違い、大学では、教養課程は別として、学部が上がると自分のやりたい分野の勉強がやりたいだけではない。しかし、大学は学問だけをするところではない。大学生活は金銭的、時間的に自分のやりたいことができる最後のチャンスだと思ふ。やりたいこと、それは人それぞれ違うと思うが、積極的に挑戦しよう。

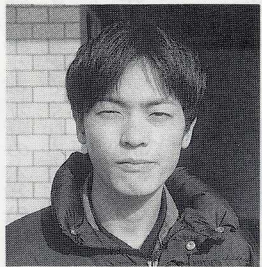
自分のことについて言えば、やりたいこと、それは野球であった。だから医学部の野球部に入学し、自分はそこで多くのよき先輩、後輩に巡り会い、週に数回の野球部活動をして楽しんでいる。けれど好きなことをやっていても、辛いことは必ずある。自分のやりたいことは少々辛くても、途中で投げ出さず最後までやり通そう。そのときっと何か大きなものを得られるはずだ。

皆さんが今考えていることを大事にして、大学生活を楽しみましょう。（おおえだ・まもる）

勉強も遊びも

おもいっきりやろう!

医学部学生 桑名俊幸



あなた方が大学生活を始めていく中で、まず最初にやらなくてはならないことは、気の合う友達を見つけていくことである。私思う。大学というのは、さまざまな人間の集まる所だ。真面目で勉強ばかりの人、遊びにたけた人、同じ歳とは思えないほどしっかりした人、とても面白い人、なかなにはとても変わった性格の人もあるかもしれない。

そういった人たちと接していくなかで、気の合う友だちを見つけ、その友だちとともにさまざまなことを見て、知って、聞いて、そしてすばらしい体験をしていくって欲しい。そうするなかで、あなたはきっと、一回りも二回りも大きく成長することができるだろう。最後になるが、新入生諸君よ、悩みも疑問も自分の考えを全て吐き出せ。何でも言えるような人間になれ。そして、勉強も遊びも、悔いの残らないよう思いっきりやろう！（くわな・としゆき）